

慶應義塾中等部

〒108-0073 東京都港区三田2-17-10 ☎03-5427-1677 中等部部长 井上 逸兵



〈URL〉 <https://www.kgc.keio.ac.jp>

沿革 慶應義塾は安政5年(1858)に創設され、幼稚園から大学までの一貫教育を行っています。中等部は、女子教育の重要性を説いた福澤諭吉の理想を実現して、昭和22年(1947)、新学制のスタートとともに男女共学教育の中学校として発足しました。

校風・教育方針

独立自尊を掲げる福澤諭吉の建学の精神に基づき、将来円満な人格と豊かな人間性をもつ人に育つことを目標としています。また、生徒が自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物に成長することを願って、学習だけでなく、校友会(クラブ)活動などさまざまな活動が生徒の自覚と自主性に基づいて行われるように指導しています。

カリキュラムの特色

中等部が義塾の一貫教育の一段階であるという考えに立ち、慶應義塾の教育の総合的に沿ってカリキュラムが設定されています。授業時間は45分単位となっています。将来、義塾の大学各学部に進学するために科目によって偏ることなく幅広い知識を身につけ、経験を積むことを重視しています。

1週間の授業時数は標準時間より5時間多い35時間で、国語、数学、理科、社会、英語については、標準時間よりすべて時間増になっています。

英語は1年生は3時間増、2・3年生は2時間増で、その内の2時間は、ネイティブスピーカー



と日本人の先生の2人が1クラスに入って共同指導をする授業を組み入れています。これは、英語を学び始めた初期の段階で外国語を聴く耳を養い、同時に外国語を使つての円滑なコミュニケーションを目的としたもので、効果をあげています。また、週1時間は、習熟度を考慮したクラス編成により、少人数での授業も行っています。

数学についても、2・3年生の授業の一部はクラスを分割して行い、生徒の意欲に応じたきめ細かい指導をしています。すべての生徒の自発的な学習を大切にしながら、放課後などでいつでも質問を受けつけ、個別指導にも努力を払っています。

教科にとらわれないユニークな授業もあります。3年生を対象にした「選択授業」では教員が自分の専門を生かして講座を開きます。授業は各講座のテーマに沿って行われ、大学教員や外部の専門家を招いたり、校外に出かけて実地に体験したりする、ふだんとはひと味違う授業です。教科書では得られない広い世界に目を向ける機会になっています。

国際・情報教育

海外研修は、希望者対象に年3回行います。春期英国研修、夏期英国研修に加え、2019年度より夏期ハワイ研修を実施しています。英国よりホームステイも受け入れています。これら以外にも慶應義塾関連の複数の海外研修プログラムを紹介しています。

また、英語、技術、情報などの教科で、iPadやパソコンを駆使した授業も行っています。

環境・施設設備

普通教室の本館、特別教室棟、体育館、プール、FUTURE館(多目的教室棟)などがあります。体育の授業や運動部の練習など屋外の活動は、校舎から少し離れたグラウンドを使用しています。特別教室棟のポプラ館には、コンピュータ室、家庭科室、音楽室があります。また、体育館には、アリーナ、小中体育室、セミナールーム、和室、多目的コート、プールが備えられています。

生活指導・心の教育

学習指導のほか、しつけの面も大切にしており、ホームルームを週2回設けて、担任の教員と生徒がふれあいを図る機会を多くしています。生徒の自主性と自発的な活動を重んじ、そのための個人的な指導にも十分な配慮をしています。勉強でも、生活の上でも、人として生きる活力となるような確かな手応えや感動を、生徒自身が感じられるように指導しています。

学校行事・クラブ活動

生徒会が校友会キャプテン会議を開いて主催する新入生歓迎会から学校行事が始まります。遠足、校内大会、古典芸能鑑賞会、林間学校、運動会、展覧会、音楽会など、いずれも大切な行事です。3年生は卒業式前に4泊の卒業旅行を行い、九州を中心に、年度によっては福澤先生ゆかりの大分県中津などを訪れています。ほかにも、校友会の合宿・研究旅行、海外研修旅行、1・2年生の工場や施設見学などがあります。

校友会(クラブ)は、それぞれの個性を伸ばす場として生徒が積極的に参加し、熱心な活動をしています。種類も非常に豊富です。学芸部は、英語研究会、カメラクラブ、気象・天文・生物愛好会、近代劇研究会、マンドリンクラブ、料理と手芸の会、模型部など21部あります。運動部は、体操、弓術、サッカー、山岳、馬術、テニス、フェンシング、ラグビー、野球など17部あり、さまざまな公式戦に参加し、多くの部が優秀な記録を残しています。

データファイル

■2024年度入試日程

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
男 約120 女 約50	1/10~1/11	1次2/3 2次2/5	1次2/4 2次2/6	2/7

※2次試験は1次試験合格者のみ受験可能

■2024年度選考方法・入試科目

1次：国語、社会、理科、算数
2次：体育、面接 ※1次合格者のみ
〈配点・時間〉国・算＝各100点45分 理・社＝各50点25分
〈面接〉保護者同伴 きわめて重視

■2023年春併設大学への進学

中等部卒業後は、本人の希望をもとに男子は慶應義塾高等学校、慶應義塾志木高等学校、慶應義塾ニューヨーク学院高等部のいずれかへ、女子は慶應義塾女子高等学校、慶應義塾ニューヨーク学院高等部のいずれかへ中等部長の推薦で進学し、さらに慶應義塾大学で学ぶことになります。2021年度新入生より慶應義塾湘南藤沢高等部へは進学できなくなりました。

2023年春慶應義塾大学進学状況

○慶應義塾高等学校(卒業者数724人)
慶應義塾大学-711(文15、経210、法225、商93、

医22、理工102、総合政策16、環境情報20、看護医療0、薬8) ※2022年8月卒業生1人を含む
○慶應義塾志木高等学校(卒業者数237人)
慶應義塾大学-234(文13、経80、法74、商20、医7、理工33、総合政策2、環境情報5、看護医療0、薬0)
○慶應義塾女子高等学校(卒業者数197人)
慶應義塾大学-188(文11、経55、法54、商21、医5、理工25、総合政策2、環境情報6、看護医療2、薬7)
○慶應義塾湘南藤沢高等部(卒業者数232人)
慶應義塾大学-231(文5、経60、法64、商16、医7、理工37、総合政策15、環境情報21、看護医療0、薬6)

■2023年度入試結果

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
男 約120 女 約50	856 448	697 352	135 58	5.2 6.1

〔学校説明会〕要予約
11/12

慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホールにて

〔見学できる行事〕

展覧会(文化祭) 11/11・11/12

運動会 10/5 慶應義塾大学日吉キャンパス陸上競技場

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください